

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

2016年8月29日

| | | | |
|-------------------------------------|--|--------------------------|--------------------|
| 東京大学での所属学部・研究科等: | 教養学部 | 学年(プログラム開始時): | 学部1 |
| 参加プログラム: | 国立台湾大学サマープログラム+C2 Chinese Translation and Culture | 派遣先大学: | 国立台湾大学 |
| 卒業・修了後の就職(希望)先: | | | |
| <input type="checkbox"/> | 1. 研究職 | <input type="checkbox"/> | 2. 専門職(医師・法曹・会計士等) |
| <input type="checkbox"/> | 3. 公務員 | <input type="checkbox"/> | 4. 非営利団体 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5. 民間企業(業界: 未定) | <input type="checkbox"/> | 6. 起業 |
| <input type="checkbox"/> | 7. その他() | | |

派遣先大学の概要

国立台湾大学は台北市にある台湾随一の国立大学。キャンパスも広く、学生数も多い総合大学である。

参加した動機

中国語を学ぶため、翻訳の技術を学ぶため、世界中の大学から来た学生との交流のため、大陸からでは見えてこない視点から中国について学ぶため。

参加の準備

①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

申請手続きでは英語と中国語それぞれ1ページのエッセイが必要なため、早めに準備したほうが良い。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

なし。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

特になし。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京大学指定の保険に加入。

⑤プログラム参加にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

プログラムの開始が期末試験期間と被るので教務課から注意を受けた。前期課程の学生なので、単位認定のあるプログラムではあるものの、東大での単位の申請はできなかった。あらかじめ国立台湾大学側に連絡し、期末を受けてから参加できるよう手配した。

| |
|---|
| ⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等) |
| 中国語はHSKはないものの、7年間大陸に住んでいた経験から日常会話は十分にでき、語学力の証明としては中国語上級クラスの先生に推薦状を書いていただいた。英語に関してはIELTS 8.0点。 |
| ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど |
| 台湾の歴史や政治についてより多く知っておくと、講義や博物館見学の意義がよりよく分かる。 |
| 学習・研究について |
| ①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等) |
| 主に午前中に2時間の講義がある。翻訳の理論的基礎から、英中および中英翻訳の多分野にわたる実践的な授業、そして最終的には台湾大学の公開授業の中国語から英語への字幕翻訳。仲間で助け合いながら翻訳の宿題や最終プロジェクトである字幕翻訳をやったことがとても印象に残った。 |
| ②学習・研究面でのアドバイス |
| 普通に大学または大陸で中国語を学んだ場合、繁体字に触れる機会が少ないので、積極的に大学図書館を活用して繁体字に慣れていくといい。毎日の授業時間がそこまで長くないため、自由時間は多くあり、自由に勉強できる環境が整っている。 |
| ③語学面での苦勞・アドバイス等 |
| 最初は繁体字で苦勞したものの、字幕翻訳までいくと中国語以上に英語に苦戦した。字幕は正確性だけでなく簡潔性も求められるため、ニュアンスを伝えることと分かりやすくまとめることとのバランスが難しかった。必要なとき積極的に先生、または英語ネイティブや長く英語環境に触れている人に手伝ってもらおうと多少楽になる。 |
| 生活について |
| ①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など) |
| キャンパスから徒歩約15分の水源学舎。家賃はプログラムの奨学金により免除。シャワー付きの1人部屋で、部屋に有線LAN用ケーブルがあるが、Wi-fiを使いたければ1階のラウンジに行かなければならない。1階にはその他簡易ジム、そしてキッチンもあり、受付や清掃員に頼めば調理用具を貸してくれる。洗濯は地下1階にコインランドリーが、各階にベランダがある。 |
| ②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など) |
| 夏は日差しが強くて暑く、雨も突然降ってくるので、傘を常に持参していると両方の場合において便利。大学の隣には公館夜市があり、夜はある意味昼間以上ににぎやか。MRTの公館駅は便利だが、比較的涼しい日にはレンタル自転車のYouBikeも安くておすすめ。食事は大学内も外も安くて種類が豊富なため、自炊をするまでもない。クレジットカードはあまり使えないため、空港で多めに両替するべき。 |
| ③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など) |
| 大学周辺は治安がとてもいいので、特になし。 |

| |
|--|
| ④要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算) |
| 航空費3万、健康保険1万、OSSMA3千、授業料と教科書代と家賃は国立台湾大学側の奨学金により免除、食費5万、その他娯楽費3万。 |
| ⑤奨学金(支給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など) |
| 日本学生支援機構(JASSO)の海外留学支援制度(協定派遣)(短期研修・研究型)の奨学金から12万円。JASSOに採択されたプログラムであるため申請書を出すと同時に奨学金の申請もあった。 |
| ⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など) |
| 週末は列車で台北付近の観光名所をまわった。台北市内にも見るものは多く、夜になると毎日夜市が様々なところで開催されているため、それもまたまわった。 |
| 派遣先大学の環境について |
| ①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等) |
| Student Advisor制度がとてもよくできており、授業時間外の宿題のサポートだけでなく、大学付近のレストランを紹介してくれたり、週末には旅行を企画してくれたり、積極的に同じプログラムの人と仲良くなる環境を作ってくれた。 |
| ②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等) |
| 図書館の地下には24時間利用可能の自習室がある。寮の1階には無料の簡易ジムがあるが、より本格的にスポーツをやりたい場合は有料だが安い大学体育館が使える。食堂はキャンパス内にいくつもあるが、図書館をよく使う人はその隣の第一学生生活動センターのバイキングが安くて便利だった。大学の建物の中ならば基本的にWi-fiは使える。 |
| プログラムを振り返って |
| ①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感 |
| 中国語と英語間の翻訳の理論と実践を両方とも集中的に学べたことは、これからの専門課程での勉強において役立つと思う。また、これまで中国を大陸の方からしか見てこなかった者としては、台湾という独特な政治的立場に立たされていることを体験できたことも大きな収穫であった。寛容な仲間にも恵まれ、自分の様々な偏見やバイアスを意識できたことも、日本で学んでいる身として考えさせられることが多かった。 |
| ②参加後の予定 |
| 専門課程に入るため、勉強に集中する予定です。 |
| ③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス |
| C2サマープログラムでは、日常会話以上のレベルでできる言語が少なくとも2つある学生が世界中から集まっており、彼らの視野の広さ、寛容さ、そして様々な言語で読書したことによって培った知識量には圧倒され、刺激されます。それぞれの立場に基づいて対話したり、意外なところで分かり合えたり合えなかったりと、普段の学生生活では味わえない楽しさやもどかしさを経験するには絶好の機会です。 |

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

Go Globalに掲載されている過去のプログラム報告書。国立台湾大学から送られてくるガイドブック。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。